

## 妊産褥婦及び乳幼児のメンタルヘルスシステムに関する研究

### 「助産婦教育における母子精神保健教育のあり方の研究」

谷口初美 佐賀医科大学医学部臨床看護学講座

研究要旨：産後の精神機能障害に関する教材を医学情報、看護情報、臨床所見、患者教育用資料等のマルチメディアを用いて一画面上で作成する方法として Web 上に構築した。このことは、いずれの資料も利用者のコンピュータ利用環境に左右されにくく、また、学習者の自由度（学習時間、学習順序、選択、環境）を拡大できる。

#### A．研究目的

出産にかかわる精神障害は、母親だけでなく児の身体的精神的な発育状態や家族にまで影響を及ぼすことが問題とされている。しかし、これらの問題を扱った教材は数少ない。本研究は、これから周産期に携わる助産婦学生を対象に母子保健教育の一環として産後のメンタルヘルスの教育を充実すべく産褥の精神障害に関する教材の開発を試みた。

#### B．研究結果

1. 学習時の G.I.O（一般学習目標） S.B.O（個別学習目標）を設定し教材のコンテンツの再検討を図る。
2. 教育効果のあるマルチメディア（ビデオ, コンピュータソフト）の検討。
3. 教育教材の製作

#### C．研究結果

1. G.I.O, S.B.O は以下のように設定した。これにより医学情報、看護情報、臨床所見、患者教育用資料に分類してコンテンツを構築した。
2. 教育効果のあるマルチメディア（ビデオ, コンピュータソフト）の検討。  
ビデオに関しては、時間が限られる。リニア形式となり、学習順序が一定化される。学習者に応じた学習スピードの調整が困難等の学習効果に関する問題 製作経費の制限等があげられた。

#### G.I.O

産後の精神障害の徴候となる症状を早期に発見し、適切なケアをすることでよりよい母子関係と家族の絆を支援する方法について学ぶ。

#### S.B.O

- ・産後精神障害の疾患を述べるができる。
- ・マタニティーブルーズに関して、原因、発症、症状、予後を説明できる。
- ・マタニティーブルーズの褥婦について正しくアセスメントし、看護ケアの計画の立案、介入・評価ができる。
- ・産褥うつ病に関して、原因、発症、症状、予後を説明できる。
- ・産後うつ病の患者について正しくアセスメントし、看護ケア計画の立案・介入・評価ができる。
- ・産褥精神病に関して、原因、発症、症状、予後を説明できる。
- ・産褥精神病の患者について正しくアセスメントし、看護ケア計画の立案・介入・評価ができる。
- ・マタニティーブルーズ、産褥うつ病、産後精神病の鑑別ができる。

これらの問題を解決する方法としてコンピュータを使用することにした。学習教材の編集ソフト macromedia 社の Author wear、Microsoft 社プレゼンテーションソフト Power Point(R)、パンフレット作成等に便利な Microsoft Publisher(R)、画像取り込みの Adobe Photoshop(R)、ビデオ編集の Adobe Premire(R)を使用し、教材開発を検討した。それぞれのプログラムを利用者のコンピュータ利用環境に左右されなく、しかも静止画、動画で編集する比較的容易な方法として Web 上のホームページを構築し、利用する方法とした。ユーザーID とパスワードによりアクセス制限を行った。ホームページは MklinuxDR3.0 を OS とし、Apache1.3.9 をサーバとして運用した。（図 1.）

(図1.ホームページ)



医学情報については Microsoft 社プレゼンテーションソフト PowerPoint(R)を基本的に作成した。最も単純な資料提示形式として、利用者の閲覧ソフトのバージョンに左右されにくい、静止画像のみのスライドショー形式と利用者の閲覧ソフトの種類、バージョン及びその初期設定に若干左右されるが、視覚及び聴覚の面から、より理解しやすいように配慮したビジュアルエフェクト付きスライドショー形式の2形式で作成した。ただし、後者においても現在多くのパソコンに最初からインストールされている閲覧ソフトで何ら支障なく利用できる。(図2.)

(図2.医学情報)



看護情報としては、マタニティーブルーズ、産後うつ病、及び産後精神病の看護診断と看護計画(アセスメント、観察計画、ケア計画、指導・教育計画、評価)をホームページに掲載した。(図3.)

(図3.看護情報)



患者教育用パンフレットは Microsoft Publisher(R)、Adobe Photoshop(R)および Microsoft Power Point を主に用いて作成した。これからの資料は医学的知識がなくても容易に理解できるようにほとんどのユニットが1画面(1ページ)で完結し、押し絵なども交えて見やすさに配慮して作成した。(図4.)

(図4.患者教育用パンフレット)



さらに教育資料の補助として、マタニティーブルーズを経験した婦人のインタビューを掲示した。インタビューについては、デジタルビデオカメラで撮影し、Adobe Premiere(R)で編集した。さらにインターネットでのビデオ閲覧においてはサイズ、解像度などが通信環境に大きく影響するため、よりスムーズに閲覧できるよういくつかの小さいビデオクリップに分割作成し、QuickTime形式で提供している。(図5.)

#### D. 考察

現在のインターネットの普及率と学生のコンピュータ利用環境下でのインターネットを使用しての学習は、学習者の学習態度や環境を大きく変えている。つまり、時間や場所に左右されずそれぞれ個人のペースに合わせて学習することができるようになった。また、それぞれのソフトの特性から学習項目ごとの新規性もあり学習に対するモチベーションの増強も期待される。しかし、本研究はあくまでも教材開発のみであったため情報としての問題、つまり、ホームページの所在、今後の管理、情報としての機密性等に関しては、問題を多く残すところがある。

#### E. 結論

情報管理としての問題を解消して教材としての利用価値を重視するために内容をCDデスクにコピーし利用することも可能である。来年度は、実際の学習効果を実証し、より臨床に活用できる教材開発への手がかりを検証し、妊産褥婦のメンタルヘルスの教育に役立てたい。

(図5. 臨床所見インタビュー)



- 母性衛生 22(3):87,1999
- 4) 谷口初美、小北良子、服部加代子、松山敏剛、内田郁美、高崎光浩：インターネットを利用した医療情報 - 母性看護学の提供 - . 第 19 回医療情報学連合大会論文集 356-357.1999.

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) 谷口初美：SCS 授業を少人数助産婦教育に用いてーアンケート調査から将来の展望 - 高等教育におけるメディア活用と教員の教授能力開発 - . メディア活用の展開と教員支援 - 研究報告書 09. NIME メディア教育開発センター、189-203.1999.9.
- 2) 谷口初美、松山敏剛、野中芳子、東島ゆりか、川原照美：母親の生活行動パターンに見る低出生体重児出産の現状。周産期医学 29(1),121-125.1999
- 3) 谷口初美：アメリカの産後 24 時間の早期退院を巡って (ハワイ州の実態調査から)。母性衛生 40(2) 316-324.1999.
- 4) TANIGUCHI, H. Early Discharge: Its newborns in the State of Hawaii. The journal of Obstetrics and Gynaecology Research, 25(3) 185-191.1999.
- 5) 谷口初美、小北良子、服部加代子、松山敏剛、高崎光浩：インターネットからアクセスできる目で見える看護学習 - これからの看護学習 - 第 15 回看護情報システム研究会講演集 91-94. 1999.
- 6) 谷口初美、小北良子、服部加代子、松山敏剛、内田郁美、高崎光浩：インターネットを利用した医療情報 - 母性看護学の提供 - 。第 19 回医療情報学連合大会論文集 356-357.1999.

### 2. 学会発表

- 1) 谷口初美、小北良子、服部加代子、松山敏剛、高崎光浩：インターネットからアクセスできる目で見える看護学習 - これからの看護学習 - . 第 15 回看護情報システム研究会 1999.6.26. 第 15 回看護情報システム研究会講演集 . 91-94,1999
- 2) 谷口初美：シンポジウム「世界の助産婦教育と助産業務」米国ハワイ州の現状 . 第 40 回日本母性衛生学会、1999.9.30. 母性衛生 22(3) : 87,1999
- 3) 谷口初美、小北良子、服部佳代子、松山敏浩：低出生体重児出産にみる母親の生活行動パターン . 第 40 回日本母性衛生学会、1999.10.1.